

## ②大会本体

9月10日(日)

多くの参加者は9月10日に札幌に移動し、イベントチェックインを行って翌日11日のDOAの参加に備えた。実行委員会では、新千歳空港における参加者の歓迎対応や、札幌市内でのイベントチェックイン対応を行った。

### ■到着時対応

札幌国際大学観光ビジネス学科の学生ボランティア17名・教授2名の協力を得て、新千歳空港到着口にて参加者への歓迎対応を行った。

当日は浴衣やATロゴマークをあしらった特製Tシャツを着用した学生ボランティアが、道外PSAの参加者など搭乗する便が把握可能である59名の参加者を中心に到着口にて出迎え、学生ボランティア自ら考案、制作したオリジナル手ぬぐいや折り紙ペンダントなどの贈り物を手渡し歓迎の意を伝えた。

また、北海道エアポート株式会社の協賛により、デジタルサイネージを活用するなどATWS2023の機運醸成に取り組んだ。具体的には、新千歳空港センタープラザ内の大型ビジョンにおいてAT動画の放映及び天吊りバナーの設置、国際線到着ロビー及び連結施設の縦型サイネージにおけるAT動画放映、国内線ターミナルでのATWS2023のポスター掲出を行った。加えて、稚内、釧路、函館、旭川、帯広の各空港においてもポスター掲出を行った。

これらを通じ、北海道を訪れる参加者へ歓迎の意思や日本におけるATの機運の高まりを印象づけることができた。また、学生と参加者の交流機会を設けたことにより、将来観光を担うであろう学生に対し貴重な体験を提供することができた。



## ■ イベントチェックイン

PSA 参加者以外も含め、ATWS2023 の参加者のほとんどはこの日に北海道に到着した。参加者は大通ビッセ（札幌市中央区）の1階に設けたチェックインスペースに来場し、ATWS2023 のバッジ（参加証）を受け取った。

チェックインスペースは10日16時～19時の時間帯で設けたが、この時間帯にバッジを受け取れない参加者に対しては、11日（月）のウェルカムレセプション会場内、12日（火）の札幌コンベンションセンターにてチェックインを行った。





## 9月11日（月）

9月11日はDOAを実施した。DOA参加者は、大通公園、JR札幌駅及び中島公園の3カ所に集合し、大型バスやJR等を利用して道内各地に出発した（DOAのコース詳細は（1）①ii参照）。

同日夕刻から、DOAから帰ってきた参加者がスムーズに参加できるよう配慮しつつ、ウェルカムレセプションを開催した。

### ■ウェルカムレセプション

11日夕方、さっぽろテレビ塔1階屋外の「2023ピコレ秋のワインフェア」会場にて、ウェルカムレセプションを開催した。参加者は、北海道産ワインや、ヴィーガン対応のピンチョス等の食事とともに、参加者どうし久々の再会に抱き合ったり喜んで親交を深めたりと、リラックスしたひとときを過ごした。

あわせて、参加者に、ウェルカムレセプションの後やATWS2023での札幌滞在期間に、札幌・北海道の食を存分に楽しんでもらう機会を提供するため、同期間に大通公園で開催されていた「さっぽろオータムフェスト」（開催期間：9月8日（金）～30日（土）、開催場所：大通公園）の実行委員会の協賛を受け、同イベントで利用できる1,000円分のクーポンの配布を行い、多くの参加者にATWS2023のイベント外でも札幌・北海道の食を楽しむ機会を提供した。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA



## 9月12日(火)

9月12日は札幌コンベンションセンターで行われるイベントの初日であり、まずは、オープニングセッションとして午前9時からのプレナリーが行われた。プレナリーでは関係者の挨拶やテーマの説明に続き、ATTAのシャノン・ストーウェル CEO による基調講演が行われた。

その後は、メディアに対し、実行委員会と ATTA 幹部が北海道・日本の AT について説明するプレスカンファレンスのほか、各テーマによる分科会等が開催された。

18時からは会場を移し、大倉山ジャンプ競技場でオープニングセレモニーが行われた。

### 9月12日タイムテーブル

時間	会場	種別	内容
08:00~08:45	小ホール	オリエンテーション	ATTA COMMUNITY ACTIVATION
09:00~10:30	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: WELCOME + THE STATE OF THE ADVENTURE TRAVEL INDUSTRY
10:30~11:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
11:00~12:30	小ホール	分科会	MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE
	Room 108	分科会	ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS
	Room 204	分科会	CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION
	Room 206	分科会	INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM
	Room 101	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: FAMILY BUSINESS - EXECUTION & SUCCESSION
12:30~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:30~14:30	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
13:30~15:00	Room108	分科会	ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS
	Room107	分科会	THE COLLABORATIVE & SUSTAINABLE FUTURE OF ASIA-PACIFIC ADVENTURE TOURISM
	Room204	分科会	CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION
	Room206	分科会	INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM
	Room207	分科会	CLIMATE LEADERS WORKSHOP: REDUCING TRAVEL'S EMISSIONS THROUGH BUSINESS TRANSFORMATION AND TECHNOLOGY
	小ホール	分科会	MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE

時間	会場	種別	内容
13:30~15:00	Room101	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: NAVIGATING RISK & CRISIS MANAGEMENT
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED ※
15:00~15:30	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
15:30~16:30	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: FINDING INNER CHŌWA THROUGH REWILDING
18:00~21:00	大倉山ジャンプ競技場	レセプション	OPENING CEREMONY

※13:30~の「SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED」は悪天候により中止となった。

(注)

- ・プレナリー=参加者全員が集まって行われる全体会。
- ・分科会=任意参加。参加者は自分の興味のあるテーマに参加することができる。
- ・ラウンドテーブル=1人の発表者と数名の参加者がテーブルを囲み、発表者のテーマに即して自由に意見を交換する場。

## ■オープニングセッション

9時から札幌コンベンションセンター大ホールで開始されたオープニングセッションは、本サミットのメイン MC を務めた ATTA アンバサダーである高田健右氏（鶴雅リゾート株式会社営業部副部長、日本アドベンチャーツーリズム協議会 Global Marketing Director）の登場からスタートした。日本に広く浸透しているラジオ体操を会場全員で行った後、JNT0 のプレゼンテーションとして蒲生篤実理事長が挨拶したのち、斉藤鉄夫国土交通大臣のビデオメッセージを放映した。

そののち、釧路市出身の箏奏者、橋本みぎわ氏の演奏にあわせて札幌市在住の書道家、水間臥猪がちよ氏が本サミットのテーマである「調和」を力強く揮毫きごうするパフォーマンスを実施した。



会場全体で行ったラジオ体操

©Hassen/ATTA





JNTO 蒲生理事長 ©Hassen/ATTA



斉藤国土交通大臣のビデオメッセージ



書道パフォーマンスを行った書道家・水間 臥猪氏 ©Hassen/ATTA



箏奏者・橋本 みぎわ氏 ©Hassen/ATTA

## ■プレスカンファレンス

日 時 9月12日(火) 10:40~11:40

場 所 札幌コンベンションセンター 特別会議場

登壇者 ATWS 北海道実行委員会 筆頭副会長 小金澤 健司(北海道観光振興機構)

ATWS 北海道実行委員会 幹事 水口 猛(北海道運輸局)

ATTA CEO シヤノン・ストーウェル

ATTA アジア・太平洋地域ディレクター ハンナ・ピアソン

参加報道機関数 37社

内 容 実行委員会からの挨拶及び説明、ATTAによる説明、質疑応答、写真撮影

### 【日本・北海道からの挨拶概要】

(実行委員会 小金澤筆頭副会長((公社)北海道観光振興機構 会長))

- ・関係者の思いが叶い、ATWS2023を北海道でリアル開催できることに大きな喜びを感じる。多くの関係者の協力に感謝。
- ・北海道はポテンシャルが高いと言われてきたが、もっと活かしていくべき。今回のATWS2023開催は、その大きな契機。
- ・観光の高付加価値化、オーバーツーリズムの解消、サステナブル観光の推進、日本・北海道

が抱える課題の解決のためには、AT の浸透が大きな鍵。

- ・ サミット参加者とのネットワークを大事にしながら、AT を浸透させ、根付かせていきたい。

#### 【これまでの経過・開催意義の説明】

(実行委員会 水口幹事 (北海道運輸局観光部 部長))

- ・ ATWS2016 に参加して以来の経緯を説明。
- ・ ATWS は『理念の共有』と『ビジネス機会の提供』の双方に深く配慮されたイベント。
- ・ また ATWS では、他のイベントと異なり、参加者同士が競争相手としてではなく、ともに課題解決にあたる。このため、今回は全ての関係者がパートナーであるという考えに立ち、ATWS2023 開催を準備することができた。
- ・ また、PSA 等を提供した国内事業者が繋がる機会であり、今後の連携が期待できることも今回開催の意義。
- ・ ATTA には、観光庁や JNTO と良好な関係を築いたうえで、2名の ATTA アンバサダーを北海道に配置するなど、日本の AT 推進をリードしていただいたことに感謝。引き続き良好な関係を維持し、日本・北海道における AT の発展に取り組みたい。



#### 【ATTA による説明】

(ATTA シヤノン・ストーウェル CEO)

- ・ 北海道には AT にとって大切な要素である『文化』『自然』『アクティビティ』が豊富。今回の PSA や DOA で、その種類の豊富さと質の高さが示された。
- ・ 環境保護が日本人々にとっていかに重要であるかが確認でき、とても勇気づけられた。
- ・ アイヌ文化など日本の豊かな文化遺産にも、大きな焦点が当てられている。
- ・ 日本の農村地域は、人里離れた静かな場所に興味を持つアドベンチャートラベラーに有益。
- ・ AT は、その場所で本当に時間を過ごし、その地の本質や精神、そして素晴らしいものを吸収することで、人々の旅のあり方を変える重要性を有する。

(ATTA ハンナ・ピアソン アジア・太平洋地域ディレクター)

- ・ 今大会のテーマ『調和』は、個を超えたものへ、コミュニティ全体へもっと目を向けることを思い出させてくれる言葉。サステナブルな生態系、地域社会、経済のためにどうすべきかを模索する現在、プログラム中にテーマが散りばめられ、このテーマが参加者や組織にとって何を意味するのかを考えるきっかけになることを期待。
- ・ ATWS の開催はゴールではなく、アドベンチャートラベラーを歓迎する準備ができたことと合図を送ること。ガイド向け研修を全国レベルで実施し、さらなるレベルアップを図ってほしい。
- ・ ATWS がもたらす無形のものこそ最も価値がある。同じ情熱を持つ人々が仲間として繋がり、北海道・日本で得たものを携えてそれぞれが帰国し、世界各国で AT の提唱者となることこそ



が、波及効果としての意義。

- ・北海道・日本は、アジアの他のデスティネーションにとって非常に高いハードルを設定した。後に続く国々にインスピレーションを与え、模範を示している。



©Hassen/ATTA

## ■ プレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月12日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。



### ●分科会

MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE

(11:00~12:30 / 13:30~15:00)

ツアーオペレーターやデスティネーション向けのワークショップ。観光をより持続可能なものにするため、観光客に責任ある選択を促す実践的な方法について、2人の専門家が講演した。



### ●分科会

ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS

(11:00~12:30 / 13:30~15:00)

アジア初の開催となった ATWS2023 の機会を捉え、アジアの AT の専門家 3 人が、アジアの AT 旅行者の志向（雰囲気、期待するもの、テクノロジーがどのように彼らの経験を形作るのか、持続可能性をどのように評価しているか）や、今後のアジアの AT 市場の取り込みについて講演した。



### ●分科会

CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION

(11:00~12:30 / 13:30~15:00)

最先端の AI テクノロジーとこれまでの人と人との繋がりを融合させた効率的な顧客獲得戦略について議論するとともに、先進的なツールの活用可能性や、AI 等を活用している同業他社からの学びを通じ、自然・地域社会・生態系を持続可能とするための省察について議論した。



	<p>●分科会 INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM (11:00~12:30/13:30~15:00) アクセシブル・ツーリズム（障害者や高齢者など、移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが旅を楽しむことを目指す取り組み）の市場機会は大きく、またこのような旅行形態を求める旅行者はデスティネーションを持続可能にするために求められているものでもあるが、一方で業界はそのニーズに十分に答えられていないことから、課題と解決策についてパネルディスカッションを行った。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: FAMILY BUSINESS - EXECUTION &amp; SUCCESSION (11:00~12:30) 「アドベンチャー・アクセラレーター」と呼ばれる継続的な対話型のプログラム。AT の分野における家族経営の会社(family business)の立上げ・経営における課題、また成功に導く要因は多岐に亘ることから、実際に family business で働く人からの知恵や、疑問やアイデア、アドバイスを、参加者同士で交換した。</p>
	<p>●分科会 THE COLLABORATIVE &amp; SUSTAINABLE FUTURE OF ASIA-PACIFIC ADVENTURE TOURISM (13:30~15:00) デスティネーションの意思決定者や経営者、マーケティング担当者を対象としたセッション。アジア太平洋地域(APAC)地域における持続可能な観光戦略や今行われている地域間協力の検証を行うとともに、現在そして今後の APAC 地域を強化するための地域間協力の機会について議論した。</p>
	<p>●分科会 CLIMATE LEADERS WORKSHOP: REDUCING TRAVEL 'S EMISSIONS THROUGH BUSINESS TRANSFORMATION AND TECHNOLOGY (13:30~15:00) 気候に関するリーダーズワークショップ。観光に必須である移動の脱炭素化に向けて、SAF(sustainable aviation fuel:持続可能な航空燃料)等の技術の専門家から学ぶとともに、将来的にゼロカーボンの旅行をいかに実現することが可能か、そのためにどのような協力が必要かを議論した。（招待者限り）</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: NAVIGATING RISK &amp; CRISIS MANAGEMENT (13:30~15:00) アドベンチャー・アクセラレータープログラム。2023年6月に発生したタイタニック号ツアーの潜水艇沈没事故に際し、AT における安全性・リスク管理についての関心が高まったことを踏まえ、このセッションでは危機的局面における対応、リスクを軽減するための戦略等について議論した。</p>
	<p>●プレナリー KEYNOTE: FINDING INNER CHŌWA THROUGH REWILDING (15:30~16:30) 地球そのもの、また地域社会が多層的危機と闘っている現状において、内なる調和を自らの外部に投影するような修復的(restorative)な体験をいかにデザインするかについて講演を受けた。</p>

## ■オープニングセレモニー

12日夜、ATWS2023参加者への歓迎の意を示すため、大倉山ジャンプ競技場で、実行委員会主催でオープニングセレモニーを開催した。

スキージャンプでオープニングが飾られたあと、MCである高田健右氏が登場、実行委員会会長の鈴木直道北海道知事が挨拶を行った。特設ステージでは、アイヌ古式舞踊とOKI DUB AINU BANDによる北海道ステージ、JNTOによるジャパンステージが行われた。立食buffetでは、道産食材を使用した和食等のメニューと北海道産のビールやワイン、日本酒が提供された。北海道・札幌らしいロケーション、北海道と日本を象徴するステージ、おもてなしにふさわしい料理と飲み物で、参加者の印象に残るオープニングセレモニーを演出した。途中から激しい雨が降り出したが、参加者は笑顔を絶やさずオープニングセレモニーを楽しんでいた。

日 時：9月12日（火）18:00～21:00（開場 17:00 閉会 20:30）

場 所：大倉山ジャンプ競技場（札幌市中央区宮の森 1274 番地）

参加者：ATWS2023参加者、トップパートナー、実行委員会関係者等 約 800 名



### ～スケジュール～

- 17:00 開場  
ウェルカムドリンク・軽食提供  
リフト・ミュージアム開放  
芸妓ステージ（17:30～17:45）
- 18:00 オープニング  
オープニングムービー  
スキージャンプ  
MCトーク  
挨拶（会長 鈴木直道北海道知事）
- 18:15 北海道ステージ  
様似民族文化保存会  
OKI DUB AINU BAND  
マレウレウ
- 18:30 食事・歓談  
芸妓・様似民族文化保存会  
写真撮影
- 19:30 ジャパンステージ（JNTO）  
太鼓芸能集団 鼓童
- 20:30 閉会
- 21:00 閉場



●会場・ステージの様子



©Hassen/ATTA

さっぽろ名妓連によるステージ（ミュージアム棟1階）



スキージャンプ後、ステージで選手を紹介



様似民族文化保存会によるアイヌ古式舞踊



OKI バンド、マレウレウによるライブ ©Hassen/ATTA



JNTO ジャパンステージ（太鼓集団 鼓童による演奏）



会場の様子

●食事の様子



- ・北海道産小麦で作ったカンパーニュサンドウィッチ
- ・白糠酪恵舎のチーズ盛り合わせとコンディマン添え
- ・握り寿司（生鮪・ホタテ・花咲ガニ・みょうが・焼き椎茸・パプリカ）
- ・巻物寿司 ・野菜のロースト ・ジンギスカン
- ・北海道産和牛と山わさび ・ザンギ ・野菜の餃子
- ・芋餅甘ダレ添え ・かぼちゃの煮物 ・ベジタブルミートボール
- ・くるみの飴炊き ・五目野菜のライスパーパー巻 ・ラタトゥウ
- ・マカロン ・わらび餅 ・北海道産クリームチーズを使ったテリーヌ
- ・竹炭クロケット ・ミックスナッツ
- ・サッポロビールクラシック、コーン茶、炭酸水（サッポロビール）
- ・ワイン（nikihills、北海道ワイン） ・道産日本酒





## 9月13日(水)

ツアーオペレーター同士の商談会であるマーケットプレイスが行われるとともに、分科会、ラウンドテーブルディスカッションが実施された。また、様々な文化体験や屋外プログラムも開催され、参加者が北海道・日本を体験する機会が提供された。

### 9月13日タイムテーブル

時間	会場	種別	内容
07:00~08:45	Room204	その他	ATCF MEMBER BREAKFAST MEETING
08:00~08:30	テラス	文化体験	EARLY MORNING KARATE
09:00~12:00	大ホール A	マーケットプレイス	MARKETPLACE MORNING SESSION
	Room107	分科会	REWILDING THE WORLD & OURSELVES
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	LONG GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED
10:00~11:00	ロビー	文化体験・休憩	MATCHA TEA DEMONSTRATION
10:00~12:00	屋外	ウォーキングツアー	GUIDED CITY TOUR
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
12:00~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:00~15:00	屋外	文化体験	GUIDED ZEN MEDITATION EXPERIENCE AT ZUIRYUJI TEMPLE
13:30~16:30	大ホール A	マーケットプレイス	MARKETPLACE AFTERNOON SESSION
	Room204	分科会	DESTINATION INSIGHTS WORKSHOP
13:30~14:30	Room107	分科会	WELLNESS PHOTOGRAPHY WORKSHOP: ONSENS AND RYOKANS
15:00~16:30	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: DIGITAL NOMADS & REMOTE CULTURE
15:30~16:30	Room101	文化体験	ART WORKSHOP: MUKKURI (AINU MOUTH HARP)
16:30~17:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
17:00~18:00	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: ADVENTURE INNOVATION CHALLENGE WITH RESET TOURISM FUND

## ■マーケットプレイス

世界中のインバウンドツアーオペレーターや宿泊施設が参加し、潜在的なパートナーとのつながりや商談、ブランドのプロモーションを行うための集中的な場が提供された。世界中のバイヤー（アウトバウンド・ツアー・オペレーター、ホールセラー、トラベル・アドバイザー等）が参加し、MORNING SESSION（9:00~12:00）とAFTERNOON SESSION（13:30~16:30）の二部制で、質の高いツアー商品の紹介や商品開発に関するディスカッションが行われた（事前予約制）。

北海道ラウンジ出展旅行会社のうち8社がマーケットプレイスに参加し、63回の商談を海外バイヤーと行った。8社からは、合計で17社のバイヤーとのやりとりが継続している旨の回答があった（令和5年（2023年）12月時点）。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA



参加企業は午前・午後に分かれて1区分12分間の商談を実施

## ■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月13日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。

	<p>●分科会 REWILDING THE WORLD &amp; OURSELVES (09:00~12:00) 前日の基調講演者であるブパック・ハギギ氏と、夫で著名な自然保護活動家のアラン・ワトソン・フェザーストーン氏による再野生化(rewilding)の実践的な取組を学び、いかに再野生化のプロジェクトを立ち上げ、個人的なビジョンを実現するかについてのワークショップが開催された。</p>
	<p>●分科会 DESTINATION INSIGHTS WORKSHOP (13:30~16:30) 世界的なデスティネーションの意思決定権を持つリーダーを対象としたワークショップ。ATTAがファシリテーターを務め、具体事例の共有、観光の復興に向けた革新的・創造的な解決法についての議論、将来に向けた継続的な対話の場の構築を行う。(招待者限り)</p>
	<p>●分科会 WELLNESS PHOTOGRAPHY WORKSHOP: ONSENS AND RYOKANS (13:30~14:30) 写真家・作家であるマーク・エドワード・ハリス氏による、1000年以上にわたり伝統的に温泉を提供してきた日本の旅館をテーマとした写真のワークショップ。参加者は、芸術表現としての写真とウェルネス・ツーリズムの2つの観点から、日本のイメージについて学ぶとともに、文化に配慮しながら写真を効果的に使用するヒントを学んだ。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: DIGITAL NOMADS &amp; REMOTE CULTURE (15:00~16:30) アドベンチャー・アクセレータープログラム。デジタル・ノマド(特にZ世代)はコロナ以降増加しており、このニッチな仕事はAT市場だけでなく、ATの雇用主にとっても大きなチャンスとなる。このセッションでは、雇用主とリモートワーカーが、デジタルノマドやリモートワーク文化の拡大を強化・支援するための視点やアイデアを交換した。</p>
	<p>●プレナリー KEYNOTE: ADVENTURE INNOVATION CHALLENGE WITH RESET TOURISM FUND (17:00~18:30) 大手企業等の出資による財団・UnTours Foundationは、観光に持続可能性・公平性・コミュニティへの関心を求める業界関係者と、現場の小規模ビジネスとの間をつなぐことを目的としている。このキーノートでは、最終選考参加者3名が、UnTours Foundationによる出資の獲得に向けてプレゼンテーションを行うピッチコンテスト、「第1回アドベンチャー・イノベーション・チャレンジ」が開催された。</p>



## 9月14日（木）

最終日も引き続き基調講演、分科会、ラウンドテーブルディスカッションが実施されるとともに、メディアとの商談会であるメディアコネク트가午前・午後ともに開催され、活発なネットワークキングが展開された。

その後、会議の締めくくりとしてクロージングセッション・ハンドオフを行うとともに、別れを惜しむ参加者たちがクロージングカクテルアワーに参加して会議を振り返った。

### 9月14日タイムテーブル

時間	会場	種別	内容
08:00~08:30	Room102	文化体験	EARLY MORNING KARATE ※
09:00~10:00	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE CAMPFIRE CHAT: ALIGNING BUSINESS WITH SUSTAINABILITY
10:00~10:30	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
10:30~12:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
10:30~12:00	小ホール	分科会	COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM
	Room107	分科会	AMBASSADORS MEETUP
	Room204	分科会	INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS & TECHNOLOGIES
	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: ADVENTURE TRAVEL GUIDE STANDARD
10:30~12:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
	円山公園	文化体験	GUIDED VISIT TO HOKKAIDO SHIRINE & MARUYAMA PARK
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
12:30~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:30~14:30	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
13:30~15:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
13:30~15:00	小ホール	分科会	COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM
	Room204	分科会	INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS & TECHNOLOGIES
	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: CYCLING TOURISM
	Room108	分科会	SUSTAINABILITY & CLIMATE ACTION FOR JAPANESE SUPPLIERS
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED ※
15:30~16:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK

時間	会場	種別	内容
16:00~16:45	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: THE LAND OF WA
16:45~17:15	大ホール B	プレナリー	CLOSING REMARKS & SUMMIT HANDOFF
17:30~19:00	大ホール A	パーティ	CLOSING COCKTAIL HOUR
21:00~23:00	Reviera Sapporo	パーティ	SUMMIT AFTER-PARTY

※天候の影響により「EARLY MORNING KARATE」は当初予定のテラスではなく屋内（ROOM102）で実施し、「SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED」は中止となった。

## ■メディアコネクト

ATWS2023の登録メディアが参加する事前予約不要の商談会として、午前（10:30~12:30）・午後（13:30~15:30）の2回開催された。参加者は目的のメディアのテーブルを探したうえで、1メディア6分の面談時間で商談を行った。北海道ラウンジ出展者からも旅行会社4社、地域団体7団体が参加し、北海道のPRを行った。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA

## ■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月14日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。



●プレナリー  
KEYNOTE CAMPFIRE CHAT: ALIGNING BUSINESS WITH SUSTAINABILITY  
(09:00~10:00)  
ATTAのシャノン・ストーウェル CEOと、世界最大のB corp 認証\*旅行社であるイントレピット社の共同設立者兼会長であるダレル・ウェイド氏による、ビジネスと持続可能性の調和をテーマとした対談が行われた。  
\*B corp 認証：アメリカの非営利団体による環境や社会に配慮した企業に与えられる国際認証制度



●分科会  
COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM (10:30~12:30/13:30~15:30)  
ATWS2022における「ゲストが望む物ではなく、DESTINATIONが必要とするものを売れ」という行動の変化を呼びかける基調講演を念頭に、重視する価値を「成長」から「長期的な持続可能性」に移行させつつある先住民ツーリズムや地域の活性化を目指すコミュニティーツーリズムの取り組みをテーマとしたパネルディスカッションが行われた。

	<p>●分科会  <b>AMBASSADORS MEETUP</b>          (10:30~12:30)          ATTA アンバサダーのみを対象とした分科会。ATTA スタッフも同席し、ネットワーキング・情報交換・ディスカッションを行った。</p>
	<p>●分科会  <b>INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS &amp; TECHNOLOGIES</b>          (10:30~12:30/13:30~15:30)          サプライチェーン全体の旅行事業者とサービスプロバイダーが協力し、サプライチェーン全体の旅行会社・サービスプロバイダー向けのワークショップ。テクノロジーそれ自体の活用だけでなく、人間本位の価値観と組み合わせ、人のためのテクノロジーの可能性を引き出しながら、テクノロジーデザインの方法について議論した。</p>
	<p>●ラウンドテーブル  <b>ADVENTURE ACCELERATOR: ADVENTURE TRAVEL GUIDE STANDARD</b>          (10:30~12:30)          ガイドの責任が世界中のデスティネーションにとって重要事項となる中、ガイドの評価の基準となるアドベンチャートラベル・ガイドスタンダード(ATGS)のこれまでとこれからについて、カジュアルなディスカッションがアドベンチャー・アクセレータープログラムとして行われた。</p>
	<p>●ラウンドテーブル  <b>ADVENTURE ACCELERATOR: CYCLING TOURISM</b>          (13:30~15:00)          サイクリングはアジアやオセアニアでも日常生活に取り入れられており、サイクルツーリズムは長年 AT の要素にもなっている。サイクリング・プロバイダーと愛好家が、サイクルツーリズムについて、アドベンチャー・アクセレータープログラムとして意見交換を行った。</p>
	<p>●分科会  <b>SUSTAINABILITY &amp; CLIMATE ACTION FOR JAPANESE SUPPLIERS</b>          (13:30~15:00)          日本のサプライヤー向けに、日本のサステナブル・ツーリズムがどのように発展してきたかについて日本の観光事業者がパネルディスカッションを行った。(日本語で実施)</p>
	<p>●プレナリー  <b>KEYNOTE: THE LAND OF WA</b>          (16:00~16:45)          ATWS2023 最後の基調講演として、36年間西日本を拠点に活動しているベストセラー作家のピコ・アイアー氏が、日本で執筆した日本入門ガイド等 3冊の本を元に、「和」(harmony)がどのように人々を結びつけ、故郷を元気づけるかについて講演した。</p>
	<p>●プレナリー  <b>CLOSING REMARKS &amp; SUMMIT HANDOFF</b>          (16:45~17:15)          ATWS2023 の閉会にあたり、ATTA が挨拶を行い、また ATTA と実行委員会が今後も北海道・日本の AT の推進に取り組む方針を発表するとともに、2024年の第20回 ATWS の開催地がパナマであると発表した。最後に実行委員会からパナマ代表団への引継ぎ式が行われた。</p>



## ■クロージングセッション・ハンドオフ

クロージングセッションでは、ATTAのシャノン・ストーウェル CEO と実行委員会の小金澤健司筆頭副会長が揃って登壇し、サミットの成功を祝い、互いに感謝しつつ、ATTAと北海道の関係はこれで終わりではなく、北海道のATの振興やプロモーションに向けて今後も協力関係は続いていくと挨拶した。

引き続き、ATTAから次回ATWS2024の開催地がパナマと発表され、パナマ代表によるプレゼンテーションが実施された。日本からパナマへの引継ぎ式では、秋辺日出男氏（阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事）が、自ら製作したフクロウの木彫り像をパナマの代表へ贈り、パナマからは小金澤筆頭副会長へ民芸品が記念の品として手渡されたのち、日本・パナマ双方の代表団が壇上で記念撮影をして閉幕となった。



©Hassen/ATTA  
ATTA シャノン・ストーウェル CEO と  
小金澤筆頭副会長



©Hassen/ATTA  
秋辺氏からパナマ代表に記念品を贈呈

## ■クロージングカクテルアワー

打ち解けた雰囲気のカクテルパーティーとして、軽食と飲み物を大ホールに用意して開催した。参加者は乾杯したり記念撮影をしたり、会期を振り返りながら思い思いに過ごした。

